

関係者各位

PRESS RELEASE 2023.3.20

「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」

In the Genes Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future

会期：2023（令和5）年4月22日（土）－6月18日（日）

会場：長野県立美術館 展示室2・3

超絶技巧を駆使した明治工芸再評価の機運が、近年益々高まっています。本展は2014年から2015年にかけて全国6館、2017年から2019年にかけて全国5館を巡回し、大好評を博した「超絶技巧展」の第3弾として企画された展覧会で、長野県では初開催となります。

今回は、七宝、金工、漆工、木彫、牙彫、刺繍絵画などの、眼を見張るような超絶技巧が施された明治工芸に加え、陶芸、木彫、金工、切り絵、ガラス、ペーパークラフトなど、さまざまな技法を駆使して新たな領域に挑戦している現代作家17名の新作を中心に紹介しています。



大竹亮峯《月光》2020年

展覧会概要

「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」

会 期：2023（令和5）年4月22日（土）～6月18日（日）

会 場：長野県立美術館 展示室2・3

開館時間：9:00～17:00（展示室入場は16:30まで）

休 館 日：毎週水曜日（ただし、5月3日（水）は開館）

主 催：長野県、長野県立美術館、SBC信越放送

共 催：長野県教育委員会、信濃毎日新聞社

協 力：清水三年坂美術館

監 修：山下裕二（明治学院大学教授）

後 援：長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、

（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社

企画協力：広瀬麻美（浅野研究所）

観 覧 料：前売券：1,200円（一般のみ、4月21日まで販売）

当日券：一般1,400（1,300）円、大学生1,200（1,100）円、高校生以下又は18歳未満無料

展覧会担当：霜田英子・佐々木裕貴子

※（ ）内は20名以上の団体料金

※東山魁夷館及びNAMコレクション2023との共通料金 一般1,900円、大学生1,500円

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料

●現代作家作品

今回、明治工芸の超絶技巧ぶりを受け継いだかのような現代の名工たち 17 名の作品を、ご覧いただきます。

青木美歌 [ガラス] 池田晃将 [漆工] 稲崎栄利子 [陶磁]
岩崎努 [木彫] 大竹亮峯 [木彫] 蝸牛あや [刺繍] 小坂学
[ペーパー] 長谷川清吉 [金工] 樋渡賢 [漆工] 福田亨 [木彫]
本郷真也 [金工] 前原冬樹 [木彫] 松本涼 [木彫] 盛田亜耶 [切り絵]
山口英紀 [水墨画] 吉田泰一郎 [金工]
彦十時絵 若宮隆志 [漆工] (50 音順)



前原冬樹『「一刻」スルメに茶碗』2022 年

●明治工芸作品

京都・清水三年坂美術館の館長 村田理如（むらたまさゆき）氏は、海外に輸出されていた明治工芸を積極的に里帰りさせ、国内屈指のコレクションとして築き上げました。本展で出品されている明治工芸は、村田コレクションを多数含んでいます。

※明治工芸とは・・・

幕末・明治期の日本で作られた、精巧な技術から生み出された多岐に及ぶ分野の工芸作品のこと。明治維新を契機に、諸大名のもと刀装具や各種調度品づくりを担ってきた金工師や蒔絵師というおおかえの職人たちは培ってきた技術を発揮する場を失い、香炉や花瓶、茶碗や鑑賞陶器といった暮らしを彩る工芸品を手掛けるようになります。そのような工芸品は、明治政府が推し進めた新たな工芸品による産業振興が後押しとなり、「明治の超絶技巧」として花開くことになりました。明治政府は、超絶技巧を凝らした工芸品を積極的に海外に売り出すことで外貨獲得を目指し、明治の工芸は産業の重要品目として一躍脚光を浴びたのです。工芸作家たちは、ウィーンやパリなど世界各地で開催された万国博覧会に作品を出品しようと制作に没頭。それぞれが切磋琢磨することで、「明治の超絶技巧」はその極みへと達しました。



白山松哉《四君子蒔絵文台・料紙箱・硯箱》

●本展覧会は、下記美術館を巡回します。

岐阜県現代陶芸美術館	2023 年 2 月 11 日～4 月 9 日
長野県立美術館	2023 年 4 月 22 日～6 月 18 日
あべのハルカス美術館	2023 年 7 月 1 日～9 月 3 日
三井記念美術館	2023 年 9 月 12 日～11 月 26 日
富山県水墨美術館	2023 年 12 月 8 日～2024 年 2 月 4 日

※作品は会場により一部異なります。

■本展のみどころ

① 現代の超絶技巧の逸品が集結！

17人の現代作家が手掛ける機知に富んだ超絶技巧作品64件が集結します。
一木でモチーフをリアルに彫り出す前原冬樹、立体木象嵌という独自の技法を編み出した福田亨、自在置物を極めた大竹亮峯、薄く壊れそうな木彫を産み出す松本涼、スーパーリアルな木彫・岩崎努、台座センサーの反応によって動く金工作品・本郷真也、精緻なパーツを組み合わせて動物を象る吉田泰一郎、ユーモラスな金工作品・長谷川清吉、微細な陶片を組み合わせて布のような作品を作る稲崎栄利子、日本三大瀑布を水墨で描いた山口英紀、古美術のエッセンスを活かす若宮隆志（彦十蒔絵）、羽根蒔絵を極める樋渡賢、算用数字を螺鈿で埋め込む独創的な池田晃将、工業製品をペーパークラフトで再現する小坂学、驚異的な切り絵・盛田亜耶、幻想的な刺繍世界・蝸牛あや、繊細なガラス作品・青木美歌。

② 技巧を凝らした明治工芸の名品を展示！

60件もの明治工芸作品を一堂に！

明治の超絶技巧を代表する七宝で名高い並河靖之（なみかわやすゆき）。京都に窯を構えた並河は、繊細で緻密な色彩と文様が特徴の七宝作品を多数生み出しています。金工の世界では、刀装具制作に従事していた正阿弥勝義（しょうあみかつよし）らが、そこで培った高い技量を輸出向けの装飾性豊かな花瓶や香炉、宝石箱などに施し、新たな工芸の世界として昇華しました。

蒔絵や印籠に代表される漆工、根付に端を発する木彫や牙彫作品。漆の世界では漆絵や青海波塗の復興で知られた蒔絵師・柴田是真（しばたぜしん）が、牙彫では後に彫刻家としても名を馳せる牙彫師・安藤緑山（あんどうりょくざん）らが超絶技巧を発揮して高い評価を得ています。

③ 撮影可能作品あり！

自由に撮影していただける作品があります。撮影した作品写真に「#超絶技巧展長野」を付けてSNSへUPし、その画面を2F特設ショップでご提示いただくとオリジナルグッズをプレゼントします。

■関連イベント

※新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

○ 記念講演会 会場／3階レセプションルーム

「超絶技巧の未来」

本展監修者の山下裕二氏が出品現代作家を中心に、
本展の見どころを解説します。

講師：山下裕二（明治学院大学教授・本展監修者）

日時：2023（令和5）年5月13日（土）13：30～15：00

定員：30名（先着順）事前予約制

（5月1日（月）9時から当館ホームページ申込フォームにて受付）

参加費：無料（要観覧券）

○ 作家講演会 会場／3階レセプションルーム

「誰にもできない」木彫作品を制作する大竹亮峯氏が、
その制作過程やアイデアについて語ります。

講師：大竹亮峯（木彫作家・本展出品作家）

日時：2023（令和5）年5月27日（土）13：30～15：00

定員：30名（先着順）事前予約制

（5月8日（月）9時から当館ホームページ申込フォームにて受付）

参加費：無料（要観覧券）



超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA
チラシ画像

○ ワークショップ 会場／3階レセプションルーム

幻想的な世界を刺繍作品で表現する蝸牛あや氏と、小さな作品を作ります。

講師：蝸牛あや（刺繍作家・本展出品作家）

日時：2023（令和5）年6月4日（日）13：30～16：00

定員：10名（先着順）事前予約制

（5月15日（月）9時から当館ホームページ申込フォームにて受付）

参加費：1,000円（税込み）



















お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県立美術館 広報・マーケティング室

TEL：026-232-0052 / E-MAIL：nam-pr@naganobunka.or.jp

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。

広報用画像

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 	<p>④</p> 	<p>⑤</p> 
<p>安藤緑山《松竹梅》</p>	<p>成瀬誠志《上絵金彩昆虫唐子図碗》A・唐子</p>	<p>成瀬誠志《上絵金彩昆虫唐子図碗》B・昆虫</p>	<p>白山松哉《四君子蒔絵文台・料紙箱・硯箱》</p>	<p>並河靖之《草花図花瓶》</p>
<p>⑥</p> 	<p>⑦</p> 	<p>⑧</p> 	<p>⑨</p> 	<p>⑩</p> 
<p>大竹亮峯《月光》2020年A</p>	<p>大竹亮峯《月光》(部分)2020年B</p>	<p>稲崎栄利子《Euphoria》2023年</p>	<p>彦十蒔絵 若宮隆志 《「ねじが外れている」モンキー、工具箱、ねじ》(部分)2023年A・モンキー、ねじ</p>	<p>彦十蒔絵 若宮隆志 《「ねじが外れている」モンキー、工具箱、ねじ》(部分)2023年B・工具箱</p>
<p>⑪</p> 	<p>⑫</p> 	<p>⑬</p> 	<p>⑭</p> 	<p>⑮</p> 
<p>前原冬樹《『一刻』スルメに茶碗》(部分)2022年A</p>	<p>前原冬樹《『一刻』スルメに茶碗》(部分)2022年B</p>	<p>前原冬樹《『一刻』スルメに茶碗》2022年C</p>	<p>池田晃将《百千金字塔香合》2022年</p>	<p>長谷川清吉《銀製 梱包材》2023年</p>
<p>⑯</p> 	<p>⑰</p> 	<p>⑱</p> 		
<p>福田亨《吸水》(部分)2022年A</p>	<p>福田亨《吸水》2022年B</p>	<p>本郷真也《円相》2023年</p>		

メール：nam-pr@naganobunka.or.jp FAX：026-232-0050

広報用画像申込書

超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA

会期：2023年4月22日（土）～2023年6月18日（日）

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。（下記以外の作品画像をご希望の場合はご相談ください。）

○をつけてください！	番号	画像名
	①	安藤緑山《松竹梅》
	②	成瀬誠志《上絵金彩昆虫唐子図碗》A・唐子
	③	成瀬誠志《上絵金彩昆虫唐子図碗》B・昆虫
	④	白山松哉《四君子蒔絵文台・料紙箱・硯箱》
	⑤	並河靖之《草花図花瓶》
	⑥	大竹亮峯《月光》2020年A
	⑦	大竹亮峯《月光》(部分)2020年B
	⑧	稲崎栄利子《Euphoria》2023年
	⑨	彦十蒔絵 若宮隆志《「ねじが外れている」モンキー、工具箱、ねじ》(部分)2023年A・モンキー、ねじ
	⑩	彦十蒔絵 若宮隆志《「ねじが外れている」モンキー、工具箱、ねじ》(部分)2023年B・工具箱
	⑪	前原冬樹《『一刻』スルメに茶碗》(部分)2022年A
	⑫	前原冬樹《『一刻』スルメに茶碗》(部分)2022年B
	⑬	前原冬樹《『一刻』スルメに茶碗》2022年C
	⑭	池田晃将《百千金字塔香合》2022年
	⑮	長谷川清吉《銀製 梱包材》2023年
	⑯	福田亨《吸水》(部分)2022年A
	⑰	福田亨《吸水》2022年B
	⑱	本郷真也《円相》2023年

●貴社についてお知らせください

貴社名 / 媒体（雑誌、番組名等）

ご担当者名 / 所属部署

ご住所 〒

電話 / FAX

E-mail

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 月 日 () に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご恵贈いただければ幸いです。